

新組織図の特徴

- 1) 管理運営、研究、事業と大きく 3 種の運営事業にグルーピング化し、階層を少なくし、シンプル、わかりやすくする。
- 2) 支部会員とのコミュニケーションと活動活性化に重要な役割を担う広報委員会及び総務委員会の位置づけと持続性を重視する。
- 3) 常議員18名は、研究、事業、管理運営関係のどれかの委員会相当に所属し、支部運営と活性化に務める。
- 4) 学術委員会の構成委員は建築学 4 分野と横断分野の五名以上が望ましい。
事業評価専門委員は事業応募代表者の兼務を避ける。